

平成30年度地区・令和元年度地区指定研究協力校
「外国語活動」研究公開
始良市立建昌小学校

1 研究主題

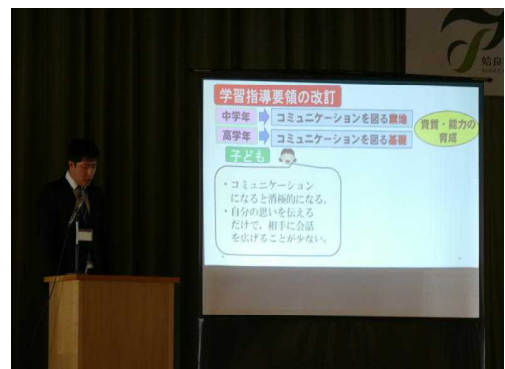
相手意識をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

2 研究発表

始良市立建昌小学校では、平成30年度から2年間にわたり、地区研究協力校として、「相手意識をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成」を研究主題に、研究・実践に取り組んできました

研究発表では、コミュニケーションの相手や目的、場面・状況、単元終末時に望む子どもの具体的な姿などを記した Final Goal 設定シートにより、全職員で授業実践に取り組むことができるようになったことが紹介されました。

また、これまでの授業実践を動画で映し出し、マジカルワードを使ったり、マイブックを活用したりしながらやり取りをする児童の姿を見ることができました。



【全体会 I 研究発表の様子】

さらに、イングリッシュデーなどの学習意欲を高める環境づくりの具体にも触れられました。これらのことは、今後、各学校における外国語教育の更なる充実を図るための大きな示唆を与えてくれるものでした。

なお、研究の視点及び具体的な取組は以下のとおりです。

【視点1】

- 1 子どもが伝え合いたくなるような学習課題の設定
 - (1) 単元を見通した Final Goal の設定
 - (2) マイブックの作成とマイブックを活用した自己表現活動

【視点2】

- 2 発達段階に応じた「やり取り」の指導の工夫
 - (1) マジカルワードを生かした言語活動
 - (2) English talk time の設定

【視点3】

- 3 学習意欲を高める環境づくり
 - (1) クラスルームイングリッシュの活用（教師，子ども）
 - (2) イングリッシュルームの整備
 - (3) イングリッシュデー，イングリッシュタイムの取組
 - (4) 校内の環境整備

3 公開授業

始良市立建昌小学校では、3年生と6年生の2学年の授業が公開されました。

第3学年では楠原愛美教諭が授業を行い、児童が生き生きと活動する姿が印象的でした。黒板には、児童同士のやり取りの順序に加え、絵カードといった視覚的教具により、児童が自信をもってコミュニケーションを行うことができるような工夫がなされていました。また、児童と一緒にあって英語を使いながら、活動する教師の姿は、児童が英語を使おうとする意欲を後押しするものであると同時に、研究の成果を体現したものとなっていました。

第6学年では三原啓弥教諭とAEAの祝部あゆみさんとのTTによる授業が行われました。English talk timeでは、やり取りをしている児童に二人の先生が寄り添い、学習する児童へ安心感を与えていたことが印象的でした。また、児童が表現できない言葉を、既習表現を想起させながら発話させていたことは、英語が使える喜びを実感と伴って味わわせるものでした。

児童に自信をもたせながら、実際に英語を使わせていくことの大切さを感じさせる授業になっていました。



【第3学年における授業の様子】



【第6学年における授業の様子】

4 分科会

分科会では、授業者が反省を述べた後、グループによるワークショップ型の研究協議が行われました。それぞれのグループには、建昌小学校で研究をされてきた先生方が加わったことや、参加者が意見を出しやすいように付箋紙を使用したことにより活発な意見交換がなされました。

次は、研究協議において交わされた意見の一部です。



【分科会の様子】

- ・ 中間の振り返りを設定し、児童が表現の仕方を考えることができていたのは良かった。
- ・ クラスの雰囲気が大変素晴らしかった。また、椅子を置かず活動しやすいようにしていることも参考になった。